

Twitterで、動画ツイートとして投稿する宣伝用ボイス。

そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

シチュエーションとしては、『05・蝶の翼の可動領域』の後。

例の麻酔薬を取りに行つた後、薬品庫のガラス扉を鏡にして、主人公に自己紹介をする練習をしている。

心理状態としては、できるだけ悪役っぽく、嫌な人っぽく見せたいと思いつつ、それでも可愛いと思ってほしい。

サリアとしては、主人公を犯す悪い女を演じ切る覚悟を決めているつもりである。でも、本当は自分の真の意図に気づいてほしい。

『そんなん無理でしょ』と思いつつも、トゥルーなハッピーエンドを諦めきれずにいる。そんな、ややこしく面倒な感情にあふれている。

「あたしはサリア。

あなたの世界を脅かす、悪い魔女です♥

【一呼吸置いて。『だけ』を強調する】

でも、勇者様のあなただけは特別。

【『いいよ♥』を特に可愛く】

現実とかいうマゾゲーから、救ってあげてもいいよ♥  
あなたがあたしのものになる。  
つまり奴隸になるならね♥

【一呼吸置いて。声のトーンが下がる。聞いている側に『奴隸にしようとするのには、何か理由があるっぽいな?』と思わせる】

いっぶいいっぶい甘えさせてあげます。

何でも何でも与えてあげます。

【泣きそうな声で】

……あなたにはその権利があるから。

【一呼吸置いて。気を取り直して明るく】

さ♥ 奴隸は奴隸らしく。

『サリア様』って呼んでみて下さい?

【ものすごく甘つたるく】

はいっ、セーの♥』

このままフェードアウトして終了。